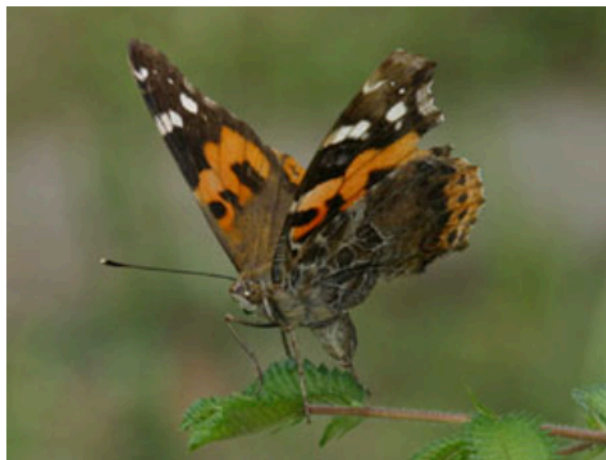


## 理学部附属 植物園のいきものたち

第14回



▲写真1:アカタテハ

写真1(上):アカタテハ

植物園ではさまざまな蝶も見られる。

写真1はアカタテハ。全国に分布する普通種で、花に吸蜜に訪れるほか、クヌギの樹液などにも集まるので、クワガタ採りに行くとよく出会う蝶である。雌雄で羽の模様に違いがなくて区別は難しいが、この写真の個体は産卵中であることからメスと分かる



▲写真2:ヤマトシジミ

写真2(下):ヤマトシジミ

写真2は交尾中のヤマトシジミ(左がメス)。同名の貝もあるがもちろん全く別種。カタバミを食草とするが、外来植物のムラサキカタバミでは育たないそうである。街中でも普通に見られる種類だが、北海道などの寒冷地には分布しない。この蝶の幼虫は体表から蜜を分泌し、それを目当てにやってくるアリがいつもこの幼虫のまわりを取り巻いている。アリの巣の中で育てられるクロシジミほどではないけれどもアリを引き寄せることで捕食者から身を守っているらしい。

(解説・写真:樋上正美)